














# 腰椎後方固定術を受けられる患者様へ(1ページ目)

項目	月日	入院日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)
目標		手術を受ける準備が出来る 		安静を守ることができる 疼痛がコントロールされる 
治療 薬剤 処置 リハビリ		中止薬を中止していただきます 手術に必要な物品を確認します  術前よりリハビリの打ち合わせを行います	術着に着替えます 血栓予防のため弾性ストッキングを履きます 車いすかベッドで手術室に向かいます 手術時間は前後する場合があります 指示された薬を飲みます(内服しない場合あり) ※手術前にしていただくこと 義歯、指輪、コンタクトレンズ、めがね、時計、化粧、かつら、髪留めをはずしてください	点滴を行っています 背中から管が入っています 酸素吸入します 定期的にガーゼの性状を観察します 現在飲んでる薬は指示があるまで飲まないでください  ベッドサイドにてリハビリを行います
検査		血液検査、レントゲン、肺機能、心電図検査をします (外来で済ませている場合は不要です)		術後レントゲン検査を行います
活動・安静 度		制限ありません 		コルセットを装着して、ベッド上30度安静です 横向きになりたい時は看護師を呼んでください
食事 (栄養士の指 導も含む)		特別な栄養管理の必要性 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	食事はできません 絶飲食の時間は麻酔科医に従ってください 医師の指示に従い、経口補水液を飲んで下さい 	医師の許可があれば飲水ができます
清潔		シャワー浴(清拭、洗髪、陰部洗浄) 		
排泄		制限はありません 		排尿:尿道カテーテルが入っています 排便:ベッド上で便器を使用します
説明 (教育・指 導)		主治医、麻酔科医、手術室の看護師、病棟看護師が手術、手術までの流れを説明します コルセットの装着について看護師がパンフレットを用いて説明します	手術中、ご家族の方はお部屋かデイルームでお待ちください	主治医が家族(本人)へ術後説明をします 

# 腰椎後方固定術を受けられる患者様へ(2ページ目)

項目 \ 月日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4～20日目	術後21日目(退院日)
目標	安静を守ることができる 疼痛がコントロールされる 			リハビリが進む 疼痛がコントロールされる	術後合併症の出現なく退院 ができる
治療 薬剤 処置 リハビリ	点滴、背中に入っている管を抜きます 医師の指示があれば薬を再開します 内服鎮痛剤が処方されます		歩けるようになれば弾性ストッキング 除去可能です  リハビリを開始します 状況に応じて 歩行訓練を行います	術後10日目をめどに抜糸します 	
検査				必要に応じ、レントゲンや採血な の検査を行います 	
活動・安静度	コルセットを装着してベッド上60度まで 上げられます	コルセットを装着して、ベッドに腰 掛けたり車いすに乗ります(リハ ビリの状況次第)	コルセットを装着して、歩行訓練を 行います(リハビリの状況次第)	術後11日目より座ってコルセットを 装着する練習を始めます	
食事 (栄養士の指 導も含む)	朝から食事を再開します 				
清潔	看護師が清拭や陰部を洗浄します			抜糸後、翌日より座ってコルセット の付け外しを行い、シャワーを浴 びる練習をします	
排泄	排尿:尿道カテーテルが入っています 排便:ベッド上で便器を使用します	状況に応じて尿道カテーテルを 抜去します			
説明 (教育・指導)				腰をねじったり、あまり重いものを 持たないようにしてください	看護師が外来の予約日や内 服などの説明を行います

宝塚市立病院 整形外科

注1. 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わる可能性もあります。

注2. 入院期間については、現時点で予想されるもので、今後の経過で変更となる可能性もあります。

注3. 外来医師と入院中主治医は、異なる場合があります。

H27/10作成 N040504P01